

★ 諸外国で用いられており、わが国でも実施予定のアプレイザルとは何なのか？

セミナーNo.603103

★ ガイドラインに合わせた費用対効果分析を実施するためのコツは？

# 薬剤経済学（医療経済評価）の 基礎と薬価・プロモーションへの活用

～費用対効果評価の試行的導入直前講座～

●日 時：平成28年3月17日(木) 12:30～17:00

●聴講料：1名につき 50,000円（消費税抜、資料付）

●会 場：〔東京・五反田〕 日幸五反田ビル8F

〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき45,000円（税抜）〕

技術情報協会セミナールーム

〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。  
詳しくはお問い合わせください〕

【講座主旨】 2016年4月、いよいよ費用対効果評価の試行的導入が開始される。これにより医薬品・医療機器を含む医療技術の価格に対する考え方が大きく変化することは間違いない。また医療現場における費用対効果に対する認知も急速に進み、プロモーションの観点からの医療経済的エビデンスの位置付けも大きく変化することが予想される。

本講座では、試行的導入後の薬価・プロモーション戦略に必須となる費用対効果評価の基本から応用まで幅広く網羅し、実務的な観点からの分析業務のポイントや、試行的導入で予定されているアプレイザルの紹介も行う。

## 1部 費用対効果評価の基本と試行的導入の影響

【12:30～13:30】

クレコンメディカルアセスメント株式会社 小林 慎 氏

試行的導入への対応を考えるためには、まず費用対効果評価の基本を完璧に抑えることが必須である。本稿では費用対効果評価の必須項目を概説したうえで、試行的導入の概要、企業における問題点と解決のアプローチ、プロモーション利用の勘所などについて紹介する。

## 2部 費用対効果評価の実際 ～分析事例を通して実務のポイントを学ぶ

【13:45～15:15】

クレコンメディカルアセスメント株式会社 井上 幸恵 氏

分析ごとに採用する手法が異なるのが、費用対効果評価の難しさの一つである。本講では、論文発表された海外の分析事例をとりあげ、中医協で公開された分析ガイドラインと照らし合わせながら、日本で同様の分析を実施するための手法を実務の観点から紹介する。また、研究成果のプロモーション利用の方法・可能性も検討する。

## 3部 試行的導入におけるアプレイザルとは何か？ ～NICE TAの事例紹介

【15:30～17:00】

クレコンメディカルアセスメント株式会社 村田 達教 氏

試行的導入でも実施が予定されているアプレイザルとは何なのか？先行する英国NICEにおけるTechnology Appraisal (TA)の事例を紹介しながら、日本における対策を探る。

「薬剤経済学」セミナー申込書

No.603103

3/17

【講師紹介割引 30,000円(税抜)】

会社名	〒	事業所・事業部		講師からの紹介として、1名につき30,000円(税抜)でご受講できます。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所				ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、宛名の用紙、又は下記URLをご参照ください。 <a href="http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm">http://www.gijutu.co.jp/doc/privacy.htm</a>
TEL		FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1				
受講者2				

今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)  
〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕

 **技術情報協会**

TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080